

オーストラリアの核果類事情(モモ/ネクタリン)

米国農務省GAINレポート 2025年8月19日

これは米国農務省海外農業局キャンベラ事務所(オーストラリア)が作成した「核果類年次報告書」のハイライト及びモモ/ネクタリンの項(一部の図を省略)を訳したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。

要旨

気象局(BOM)の予報では春の降雨が平年より多いとされており、主にこのことからオーストラリアの2025/26販売年度(年度)の核果類の生産量は減少するものと見込まれる。そのとおりになった場合、この気象条件は収量と果実の品質の双方に悪影響を及ぼすことが予想される。サクランボの生産量は10%減少し、モモ及びネクタリンの生産量は7%減少すると見込まれる。

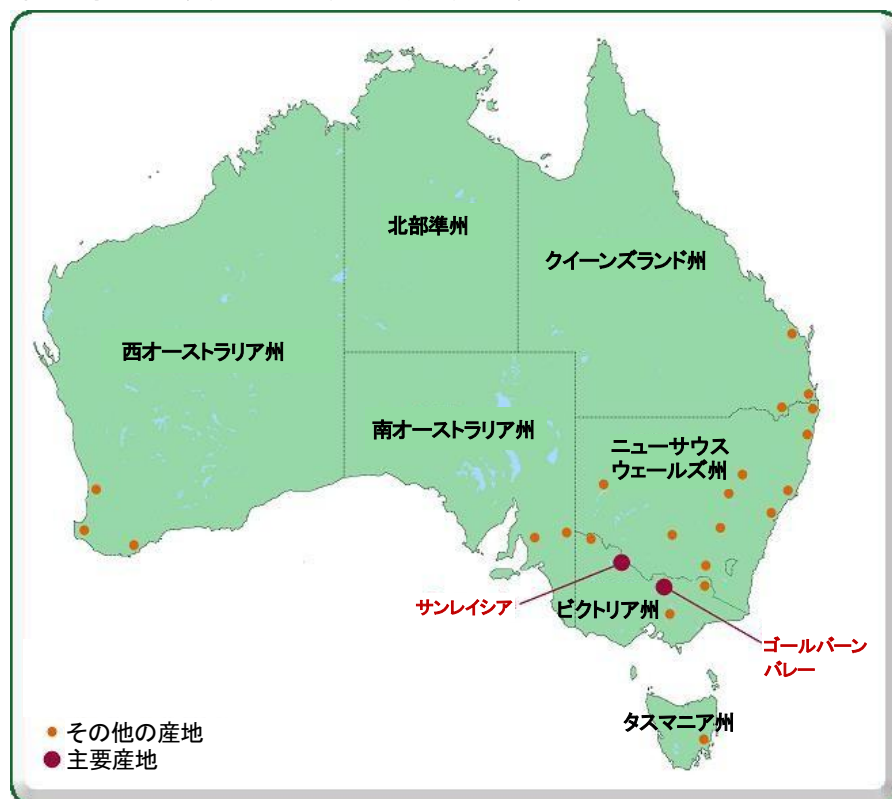
これまでの生育条件は良好で、冬季の低温時間が十分にあり、旺盛な発芽と良好な生産量の可能性を裏打ちしている。しかしながら、雨の多い春の天候への移行が予想されるため、シーズン序盤におけるこれらの利点が損なわれる可能性がある。その結果として、サクランボの輸出量は9%、モモ及びネクタリンの輸出量は7%、それぞれ減少すると予測される。輸入は低い水準がベースではあるものの、2025/26年度には緩やかに増加すると見込まれる。

<モモ/ネクタリン>

背景

オーストラリアではモモ及びネクタリンの約4分の3はビクトリア州で生産されており、主に同州中部のゴールバーンバレー地域及び同州北西部のサンレイシア地域の2つの主要産地に集中している。ニューサウスウェールズ州は全国の生産量の約8分の1を占めているが、州内に単一の支配的な産地は存在せず、複数の地域に分散している。このほか、クイーンズランド州南部、南オーストラリア州南東部のアデレードヒルズ地域、及び西オーストラリア州南西部でも一部生産されている(図9)。サクランボとは対照的に、モモ及びネクタリンはタスマニア州では最小限の量しか生産されていない。

図9 オーストラリアのモモ及びネクタリンの産地



出典: オーストラリア核果類協会 (Summerfruit Australia)

一般に、北部のより暖かい産地では、シーズンの早い時期に収穫を開始する。これは、南部地域に先駆けて果実を供給することでマーケティング上の利点がある一方、涼しい南部地域の果実と比較してやや糖度が低く、風味が劣る傾向がある。北部地域の収穫は通常10月から3月まで続き、南部地域では通常11月から4月まで続く。

モモ及びネクタリンの栽培条件はサクランボのそれと概ね同様であるが、2つの重要な違いが存在する。すなわち、モモ及びネクタリンは冬季の低温要求量が少なく、やや暖かい地域での栽培が一般的である。

生産

2025/26年度の生産の見通し

当事務所は、モモ及びネクタリンの生産量が2024/25年度の推定7万5千トンから、2025/26年度には7万トンに減少すると予測する。予測対象作物の初期の生育条件は、良好な低温積算時間、これまでの平均的な降雨量、及び十分な灌漑用水の利用可能性に支えられて概ね良好である。

しかしながら、サクランボの状況と同様に、気象局(BOM)はビクトリア州のゴールバーンバレー地域及びサンレイシア地域の主要産地において、降雨量が中央値を上回る確率が平均よりも大幅に高いことを予想している。湿潤な状態は総生産量を減少させる可能性があるが、より懸念されるのは、これらの状態が収穫期まで継続した場合に果実の品質に悪影響を及ぼす可能性が有ることである。収穫期における過剰な降雨は、市場で販売できる果実の割合を低下させ、輸出に適した数量を減少させる可能性があり、これは2023/24年度に起こったことと類似している。

業界からの報告によれば、これまでの涼しい冬と十分な低温時間により、旺盛な発芽が促進され、収量が向上する可能性が高い。生産者は一般的に、生育期の降雨量が平均を下回ることを好む傾向がある。これは、果実の生育及び品質をより適切に制御できるためであり、灌漑用水が豊富にある場合は特にそうである。春季(9月～11月)の降雨量が平均的であればまだ管理できるが、平均を大幅に上回る場合は受粉期のリスクを高め、病害の圧力を助長し、土壌水分の過剰を招く可能性があり、これらすべてが果実の品質と風味を低下させる要因となり得る。

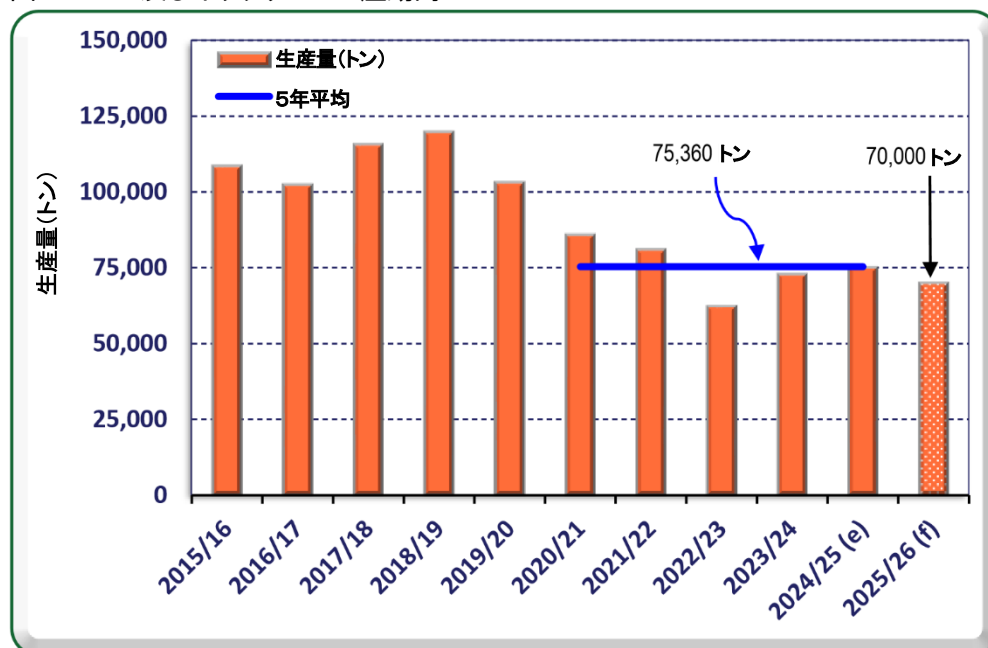
2025年9月の灌漑シーズン開始時点において、ゴールバーンバレー地域及びサンレイシア地域の灌漑設備のある主要な核果類産地では、水の利用可能性が前年よりも大幅に減少すると予測されている。しかしながら、これらの灌漑地域に水を供給する集水域等で平均を上回る春の降水量が予想されているため、季節の進行に伴い灌漑水の割当量が増加する可能性がある。これが実現すれば、生産者の懸念を和らげ、灌漑用水の取引価格を抑制する一助となると見られる。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によるパンデミックの前の5カ年においては、オーストラリアのモモ及びネクタリンの生産量は比較的安定しており、平均11万トン程度で推移していた。しかし、2020/21年度以降、複数の要因が重なって生産量が減少し、直近の5カ年平均は7万5千トン強にまで低下した(図11)。

2020/21年度及び2021/22年度にはパンデミック関連の労働力不足により、市場向けに収穫される果実の量が制限された。その後、2023/24年度の春には季節外れに雨が多く、収穫期の降雨も平年を上回った。また、この時期のサプライチェーンの混乱により、特に肥料及び農薬の投入コスト並びに果樹園の管理と収穫に係る人件費が増加した。こうした圧力が栽培面積の減少を促しており、業界関係者は短期的に大幅な拡大は見込めないと指摘している。2025/26年度は春の降雨が多いとの予測により、引き続き生産量が抑制されると見込まれる。

ただし、古い果樹園がより多収性の新しい品種に改植されれば、長期的な回復の余地はある。季節的な条件が良好であれば、今後数カ年のうちに生産量が上向く可能性がある。

図11 モモ及びネクタリンの生産動向



出典：PSDオンライン並びに当事務所の推計及び予測

注：(e) = 推計値、(f) = 予測値

2024/25年度の推計生産量

当事務所は、2024/25年度の生産量を、前年の7万2,900トンから3%増となる7万5千トンと推計する。この増加は、ビクトリア州のゴールバーンバレー地域及びサンレイシア地域において、収穫最盛期(2023年11月～2024年1月)の降雨量が平均を上回ったことにより生産量が減少した2023/24年度と比較して、季節的な気象条件がより好ましかったことを反映したものである。

消費

2025/26年度の消費の見通し

当事務所は、2025/26年度の国内消費量を、2024/25年度の改訂推計値である6万3,200トンに比べて6%減となる5万9,300トンと予測する。この減少は主に、予測生産量の5千トンの減少に起因する。さらに、2025/26年度は気象条件の悪化が予想されるため、2024/25年度と比較して平均的な果実の品質が低下すると見込まれ、これにより消費者の需要が鈍化する可能性がある。

2024/25年度の推計消費量

当事務所は、2024/25年度のモモ及びネクタリンの推計消費量を、前回(12カ月前)の予測の7万7,500トンから6万3,200トンに下方修正した。この修正は、このシーズンの推計生産量が大幅に低下したことを反映している。国内の小売ネットワーク全体において果実の品質は概ね良好と報告されており、したがって品質は消費量の低下の要因ではなかった。

貿易

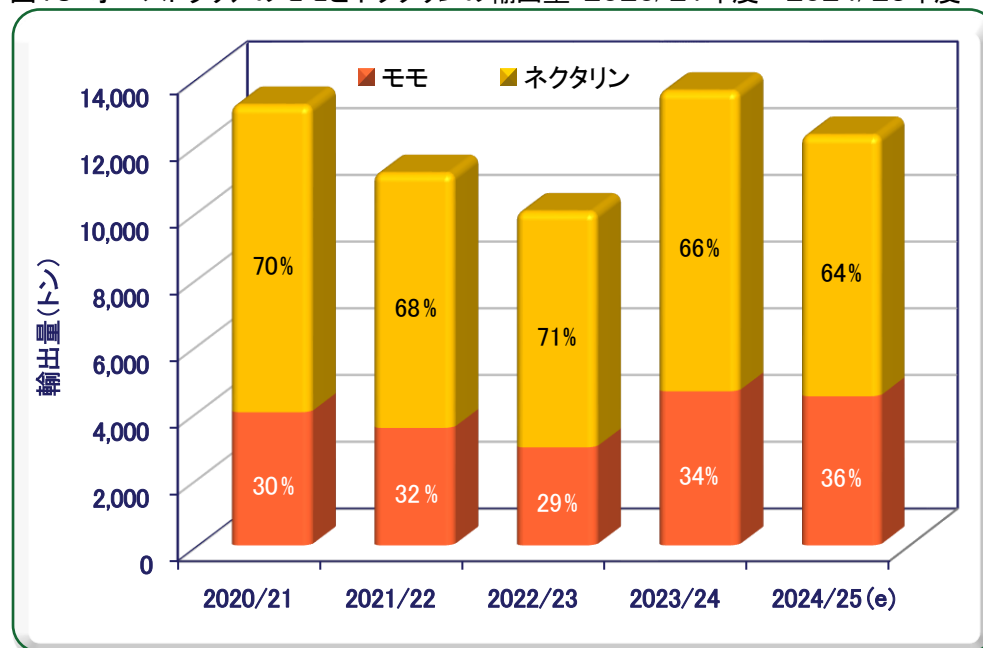
輸出動向

2025/26年度の輸出の見通し

当事務所は、2025/26年度の生鮮モモ及びネクタリンの輸出量は、2024/25年度の推定1万2,400トンから、1万1,200トンに減少すると予測する。この減少は、主に予想される生産量の減少によるものである。さらに、春の降雨が平均を上回り、収穫期にまで及ぶ可能性があるとの懸念があり、果実の品質に悪影響を及ぼし、輸出に適した出荷量が制限されると予想される。

モモは果肉が柔らかく、品質保持期間が短いため、一般的に長期の海上輸送には適していない。対照的に、ネクタリンは果肉がしっかりしているため、海上輸送によく耐える。総輸出量の概ね3分の2がネクタリンであり、残りの3分の1がモモである(図13)。

図13 オーストラリアのモモとネクタリンの輸出量 2020/21年度～2024/25年度

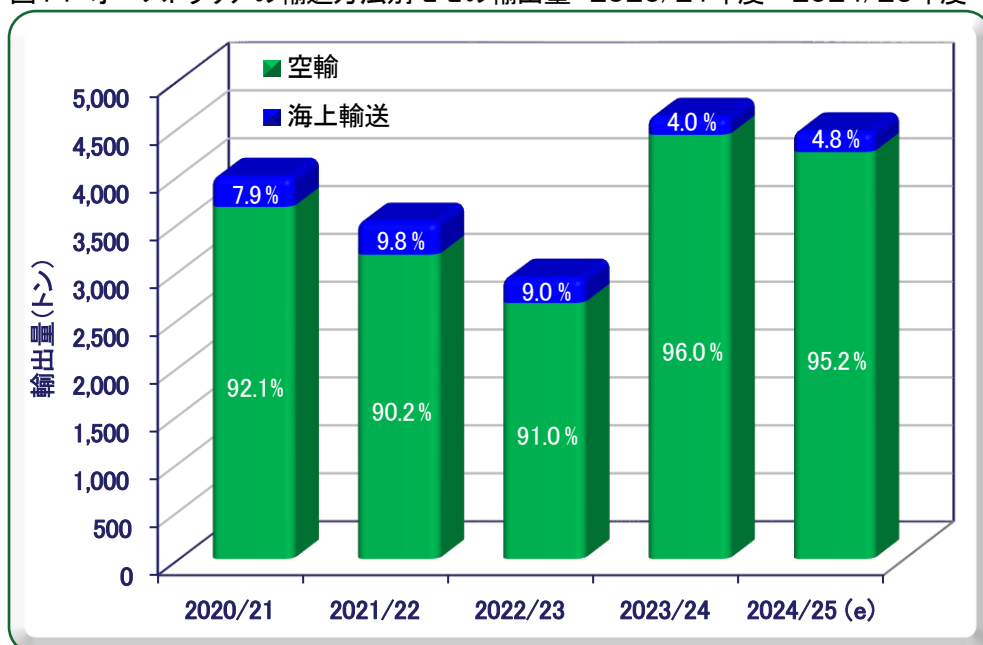


出典：オーストラリア統計局

注：2024/25年度は2024年11月から2025年6月までのデータ (e) = 推計値

モモの大部分は航空貨物として輸出される(図14)。パンデミック期間中は航空運賃の高騰により、ネクタリンと比較してモモの輸出シェアが減少したが、その後、この比率はパンデミック前の水準に回復した。

図14 オーストラリアの輸送方法別モモの輸出量 2020/21年度～2024/25年度



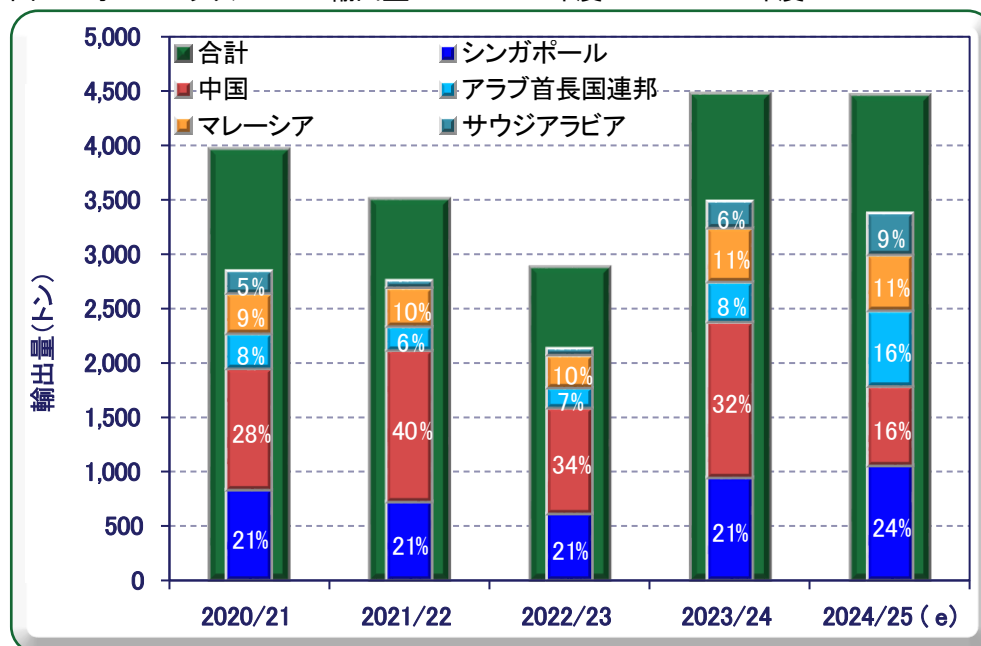
出典：オーストラリア統計局

注：2024/25年度は2024年11月から2025年6月までのデータ (e) = 推計値

オーストラリアのモモ輸出は比較的多様化しており、約75%が主にアジアの5つの主要輸出先に出荷されている。2024/25年度までは中国が最大の市場であったが、シンガポールが主要輸出先として浮上し、中国のシェアは減少した。2024/25年度には、アラブ首長国連邦への輸出も大幅に増加した(図15)。

ネクタリンに関しては、従来は中国が輸出量の4分の3以上を占めてきた。しかし、2024/25年度には中国向けの出荷量及びシェアの双方が減少し、アラブ首長国連邦への出荷量が顕著に増加した(図16)。

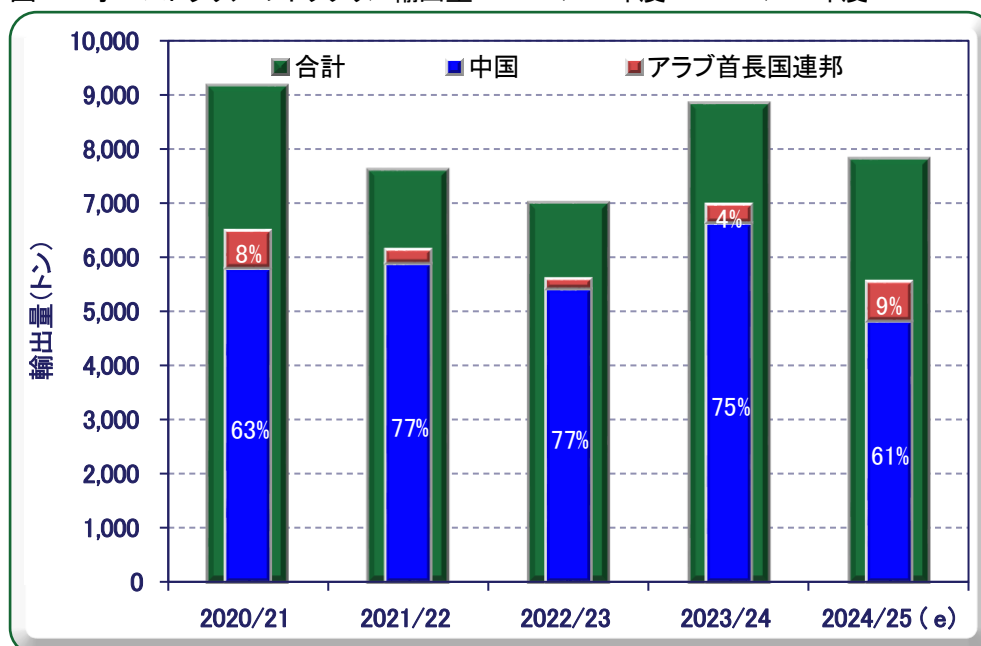
図15 オーストラリアのモモ輸出量 2020/21年度～2024/25年度



出典：オーストラリア統計局

注：2024/25年度は2024年11月から2025年6月までのデータ (e) = 推計値

図16 オーストラリアのネクタリン輸出量 2020/21年度～2024/25年度



出典：オーストラリア統計局

注：2024/25年度は2024年11月から2025年6月までのデータ (e) = 推計値

中国はわずか9年前にモモ及びネクタリンの輸入を開始し、過去7年間はチリ及びオーストラリアからのみ調達していた。オーストラリアは近年、中国の輸入量の約15%を供給していたが、2024/25年度にはこのシェアが9%に減少した。中国への輸出量の減少は、シンガポール及びアラブ首長国連邦への輸出の増加によって埋合せられた。

中国の消費者は、一般的に黄肉の品種よりも甘味の強い(酸味の少ない)白肉種のモモ及びネクタリンを好む傾向がある。オーストラリアの生産者はこの嗜好を認識しており、それに応じて植栽を調整している。

2024/25年度の推計輸出量

2024/25年度の推計輸出量は、以前の予測である1万4千トンから1万2,400トンに下方修正した。この修正は、このシーズンの推計生産量の低下を反映している。収穫量は少なかったものの、果実の品質は概ね良好であり、輸出基準を満たす生産量の割合は平年と同程度であった。

輸入動向

2025/26年度の輸入の見通し

2025/26年度の輸入量は800トンと予測され、2024/25年度の下方修正された推計値である600トンに比べて小幅の増加となる。過去の輸入量はこれよりも大幅に多かったが、2023/24年度に米国産核果類の輸入が3週間停止されたことを受けて、オーストラリアの2大小売チェーンがモモ及びネクタリンの取扱から撤退したため、依然として少なくなっている。

モモ及びネクタリンの輸入は国内産のシーズンオフに限られ、ほぼ全量が航空貨物として米国から調達される。2023/24年度には、オーストラリアの主要な調達先である米国太平洋岸北西部の出荷の最盛期直前に輸入が停止された。

業界からの報告によれば、2024/25年度の米国からの輸入品の品質は高く、消費者の評判も良かった。これらの輸入品は主に準大手の小売チェーン及び独立系の青果店を通じて流通している。今シーズンの消費者からの好意的なフィードバックは、2025/26年度の輸入の緩やかな伸びを支える可能性がある。

季節外れのモモ及びネクタリンの入手可能性を強調する販促キャンペーンは、大手スーパーマーケットチェーンの輸入再開を促し、今後数年のうちに輸入量を増加させる可能性がある。

2024/25年度の推計輸入量

2024/25年度の推計輸入量は、前回(12カ月前)の予測の1,500トンから600トンに下方修正した。この減少は、2つの主要スーパーマーケットチェーンが依然として輸入市場で不在であることを反映している。この撤退は、シーズン全体の貿易を混乱させ輸入業者に不確実性をもたらした2023/24年度の米国による輸出停止措置を受けたものである。

表3 オーストラリアの生鮮モモ・ネクタリンの生産需給統計

モモ・ネクタリン(生鮮) 販売年度の始まり オーストラリア	2023/2024		2024/2025		2025/2026	
	2023 年 11 月		2024 年 11 月		2025 年 11 月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
商業的生産量(トン)	85,000	72,800	90,000	75,000	0	70,000
非商業的生産量(トン)	0	0	0	0	0	0
生産量合計(トン)	85,000	72,800	90,000	75,000	0	70,000
輸入量(トン)	700	200	1,500	600	0	800
総供給量(トン)	85,700	73,000	91,500	75,600	0	70,800
国内消費量(トン)	72,300	59,400	77,500	63,200	0	59,300
輸出量(トン)	13,400	13,600	14,000	12,400	0	11,500
市場からの隔離(トン)	0	0	0	0	0	0
総仕向量(トン)	85,700	73,000	91,500	75,600	0	70,800

公式データには、[PSD Online Advanced Query](#) からアクセスできる。